

● 緑区社会福祉協議会の主な取組

緑区社会福祉協議会では「区域計画」の推進について、区役所及び地域ケアプラザと共に、全地区での地域課題の解決に向け様々な取組を行っています。令和2年度の取組の一部を紹介します。

新型コロナウイルスに負けるな！地域活動応援プロジェクト

緑区社協では「新型コロナウイルスに負けるな！地域活動応援プロジェクト」としてコロナ禍でもつながり続ける地域の取り組みを応援しました。取り組みの一部を紹介します。

●ハガキ DE つながりプロジェクト

「ハガキ」を活用して、活動がお休み中でもボランティア同士・利用者とのつながりを感じてもらう取組です。緑区ふれあい助成金・緑いきいき助成金の団体やボランティア分科会所属のボランティアグループをはじめ、区内で活動している市民活動団体等、趣旨に賛同していただける団体に区社協からハガキを無償で提供しました。（郵送で送る場合は切手を貼る）ハガキ裏面のイラストは霧が丘にあるNPO法人ふかぶかで活動する障害のあるメンバーが描いたものを印刷しました。

●緑区医師会協力 動画配信

緑区医師会会長二宮浩先生に出演いただき、コロナ禍での地域活動の留意点と横浜市内で行われている「ドライブスルー式PCR検査」についてお話していただき、YouTubeで配信しました。



●こんな時だからこそ、再確認！「ボランティア活動は私たちのまちの宝物」リーフレット配布

横浜市社会福祉協議会作成のコロナ禍での地域活動の意義・できることをまとめたリーフレットを配布しました。（活動を行う上でのチェックリスト付き。横浜市社協のホームページからダウンロードできます。）

他にもアルコールの手に入りにくい時期に消毒液を一括して購入し、希望するボランティアグループなどに配布し、利用していただくなど、つながりが途切れないために活動を支援しました。

白山防災座談会 ～「今日、みんなで防災・災害について考え、明日から行動しよう」～

連合自治会の防災活動、民生委員・児童委員による災害時要援護者支援活動への関心が非常に高い白山地区での活動をより発展・拡大させていくために、区社協として「白山防災座談会」を開催しました。

「災害時要援護者」と呼ばれる当事者の人たちの困りごとや心配事について、地域活動者（自治会長、民生委員、地区社協等）と共有する機会・場をつくり、地域として、また住民一人ひとり何ができるかを考えるきっかけづくりとなりました。

地域で暮らす障害のある当事者や家族から「災害時に気になっていること、心配なこと」や「最近の発災時のエピソード」を、また地域活動者からは、自治会や民生委員等の取組を説明していただきました。参加者全員に「明日から“防災”について自分自身でやろうと思うこと」という質問をしたところ、「災害時も普段と変わらない生活ができるように準備しておく」「自治会、隣近所が最後には頼りになるので日頃から挨拶をしたり、防災訓練には積極的に参加するように周りの人に勧めていく」などの意見が出ました。

発災時に「助けて」と言える顔見知りを普段から近所につくる、そのきっかけづくりを今後も緑区社会福祉協議会では続けていきます。

ぺこぺこネットワーク（生活困窮者等への「食」を通じた生活支援事業）

●生活困窮者（世帯）等への一時的・緊急的支援

生活にお困りの方（世帯）等へ1回につきおおむね1週間程度の食糧をお渡しし、一時的・緊急的な食支援を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で食支援の利用者（世帯）が昨年度に比べて、多くなっています。また生活福祉資金特例貸付から食支援の利用につながる世帯の中では外国籍の方も多くなっています。

【令和2年4～12月利用実績】

実利用人員：27名（世帯） 延べ食支援回数：73回

※このうち、外国に關係する世帯：5世帯、ひとり親世帯・未成人の子がいる世帯：10世帯

●ぺこぺこネットワークのロゴマーク完成

神奈川県立白山高校美術部の生徒の皆さんにぺこぺこネットワークのロゴマークを考えてもらい、多くの作品の中から右記マークに決定しました。このマークは、フードドライブののぼり旗や食品の寄付をしてくださった方へのお礼の缶バッジ等にて使用しています。



●お米の定期便配分

区内の自治会や個人の方より多くのお米の寄付をいただいたため、これまで食支援を行った方（世帯）やひとり親世帯の方々を対象として、お米の定期便として2kgまたは3kgの精米を1カ月に1回お渡ししました。



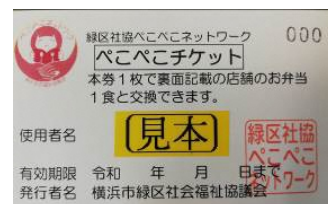
●セブンイレブン（株）の寄付品を活用した生活困窮世帯向けの「配分会」

セブンイレブンから受付した寄付品をこれまで食支援を行った方（世帯）を対象に、主に日用品を中心とした配分会を行いました。7世帯の方々にご参加いただきました。

●ぺこぺこチケット

区内の協力いただけるお弁当屋さん（現在は区内3カ所）で1枚につき1個を交換できるチケットを1週間に1回分（世帯人数分）をお渡しする取り組みです。

この取り組みは、令和2年12月から開始し、今後協力していただける店舗を増やしていく予定です。1週間に1回はあたたかいお弁当を食べて欲しいという想いから、この取組を始めました。



●フードドライブ（食の寄付運動）～「もったいない」を「ありがとう」へ～

令和2年度は、募集強化期間を年4回設定し、緑区社協以外の区内地域ケアプラザや地域子育て支援拠点いっぼや竹山団地内のふれあいさろん竹多久等でも受付し、多くの食品の寄付が集まりました。

●関係機関との連携

フードドライブ以外にも、各地域ケアプラザが地区の各団体と協力して実施した食支援に関する配分会へ協力するとともに、緑区社協の場所が遠くて来所できない方に対して、近くの地域ケアプラザなどで食品等をお渡しするなどの連携を進めました。

ぺこぺこ110番（食支援専用電話）：045-938-5988

※明日食べるものに困っている方のための専用電話です。必要な方がいればご連絡ください。